



## 大通り 春まつりで恒例のミニSL運行（5月3日）

主な内容

- 成人式に245名が出席…………… 23
- 春季消防演習を実施…………… 4
- 功労をたたえ 春の叙勲…………… 5
- 歯の健康「指しゃぶり」…………… 5
- カメラスケッチ…………… 6
- 加茂の風土記「須田小学校の校歌」… 8

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院をもり立てましょう  
 「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願ひいたします

# 5月3日 加茂市成人式



2014成人式

## 感謝の心と

## 向上心を持って

五月三日、文化会館で成人式が開催されました。今年の成人式は、平成五年四月二日から平成六年四月一日までに生まれた人たちで、平成二十一年三月に中学校を卒業した三百三十七名が対象となります。平成五年は、皇太子殿下御成婚、Jリーグ開幕、加茂市役所庁舎移転などがありました。

当日二百四十五名が出席した式典で、小池清彦加茂市長は易経から「天行は健なり、君子以て自強（じきょう）して息まず」と、論語の中から「仁を以て己が任と為す」の二つの言葉を新成人の贈り、活躍を期待しました。そしてニュースで取り上げられる憲法の改正と集団的自衛権の容認について「現在の平和憲法は素晴らしいものです。この憲法の改正を認めてしまったら、皆さん自身が徴兵制の下で海外のし烈な戦場に送られる危険があります。」とあいさつしました。

新成人を代表して井上悠太さん





司会を務める和田亮一さんと田浦智也さん



二十歳の誓いを述べる井上悠太さん



三浦伸一教育委員長



小池清彦加茂市長



安田憲喜市議会議員

が「これまで以上に責任を持った行動、言動を心がけ、これまで支えてくださった方々へ感謝し、常に向上心を心がけます」と二十歳の誓いを述べました。  
式典後は、各中学校ごとの記念撮影と、産業センターでのパーティーで、同級生との再会とメールアドレスの交換などで楽しいひとときとなりました。



式典後、産業センターでパーティー



中学校の同級生たちと記念撮影

# 5月18日 春季消防演習

市内7分団32個部隊が  
出動に備えた訓練を披露



初期消火訓練 (左上)

消防車両による分列行進 (左下)

消防団員による分列行進 (右上)

河川敷での放水訓練 (右下)

体育館で行われた式典では、火災や災害、防火啓発に活動されている消防団員や支える家族の方々に感謝し、小池清彦加茂市長から表彰状や感謝状が贈られました。続いて会場をグラウンドに移し、消防団各分団と加茂地域消防署の通常点検、部隊訓練、消防署救助隊と救急隊の救助訓練、そして石川地区の皆さんによる消火器を使った初期消火訓練が行われました。部隊訓練では各分団の部長以上の団員による行進、救助訓練は倒壊家屋から救出訓練がありました。救出訓練は、倒壊家屋の内部に取り残された人の気配を捜し、隊員



消防団長から部隊点検を受ける各分団



倒壊家屋からの救出訓練

が機材を使って救出する一連の流れが行われました。初期消火訓練には、石川地区の十名の方から参加していただきました。消防署員からは「あわてずに火元から消火器を向けてください」という説明に、参加者からは「実際にレバーを握って使ったのは初めてなので、力の加減や炎との距離を感じる事ができました」という感想が聞きました。加茂小学校グラウンドでの訓練の後、大通りで消防団員、消防車両による分列行進と、加茂川河川敷右岸からの放水訓練が実施されました。

# 春の叙勲

春の叙勲に加茂市から志田升男さんが受章されました。その受章について、お聞きしました。

## 瑞宝単光章

(消防功労)



志田升男さん  
(柳町一・66歳)

志田さんは、昭和四十三年から四十二年間消防士として勤めてこられました。受章については「先輩、後輩、消防団のチームワークと支えてくれた大勢の皆さんのものだと思います」と話されます。消防士になりたての頃は、水害や火災のたびの先輩たちから言われた「連携の動きを止めないよう」に「することで精一杯だったといえます。今ではほとんど起こりません。当時の車のタイヤはパンクが多かったので、緊急時に車両

が出せないということがないよう、よく点検していたそうです。

また、火災や災害のときばかりでなく防火指導や啓発・検査などの日常業務が「こんなにもあるのか」と驚きました。消防車両での巡回や広報活動も必要で、近年、火災件数が昭和四十年代と比べ少なくなつたのは、防火に対する意識がしつかり根付いたことと、暖房設備や住宅環境の防火対策がしつかりされてきたことがあげられるそうです。

今は、畑で野菜を作ったりしています。趣味は将棋とアユ釣り。七・二九水害の影響でアユの遡上が少ない状況ですが、また戻ってくるのを楽しみに待っていると話されました。



## 歯の健康Q&A

①

【指しゃぶりが

なかなかやめられないのですが？】

「指しゃぶりは悪い習慣」とはとらえていません。卒乳後、指しゃぶりが目についてきますが、この時期は子どもが精神的な安堵感を得るために、母親への接触や乳首をしゃぶることでの安心感や満足感の代償行為として指しゃぶりをしていると考えられます。そのため三歳ぐらいまでは認めてあげて良いのです。三歳を過ぎ、社会



性が出てきて語彙(ごい)も増え理解力も増してきたのなら、指しゃぶりが自然にやめられるものです。その後まだやめられない四〜五歳児には、意識して指しゃぶりをやめさせる指導をした方が良いでしょう。

なかなかやめられない場合は、歯並びに影響が出てきます。開咬(かいこう)という前歯がかみ合わないかみ合わせになってしまうと、舌をそこにはさんで飲み込みをする悪い癖ができあがってしまいます。そうすると、発音などにも影響が出てきますので早期の介入が必要となります。

(加茂市歯科医師会)



## 学童・少年野球結果

学童野球大会には五チーム、少年野球大会には中学校六チームが出場しました。二十九日の開会式では、入場行進の審査もあり、学童野球では下条ファイターズ、少年野球では加茂中学校が加茂市野球連盟から表彰されました。学童野球は二日間の日程で試合が行われ、結果は次のとおりとなりました。

### 第34回全日本学童軟式野球大会中越大会予選会

期日 四月二十九日、五月五日  
会場 七谷野球場  
優勝 田上ベースボールクラブ  
準優勝 下条ファイターズ

### 第66回加茂市少年野球大会

期日 四月二十九日  
会場 七谷野球場、  
羽生田野球場  
優勝 田上中学校  
準優勝 七谷中学校

## カメラ スケッチ



### 第35回市民書道展

毎年、加茂まつりに合わせての開催（20日～23日）です。今年は雨で御神幸が中止となったため、21日の入場者数は例年に比べ少なかったようですが、前日の宵宮には大勢の皆さんが作品をご覧になったそうです。この書道展は出品題目やテーマはなく、小学生の作品264点をはじめ、526点の作品が展示されました。

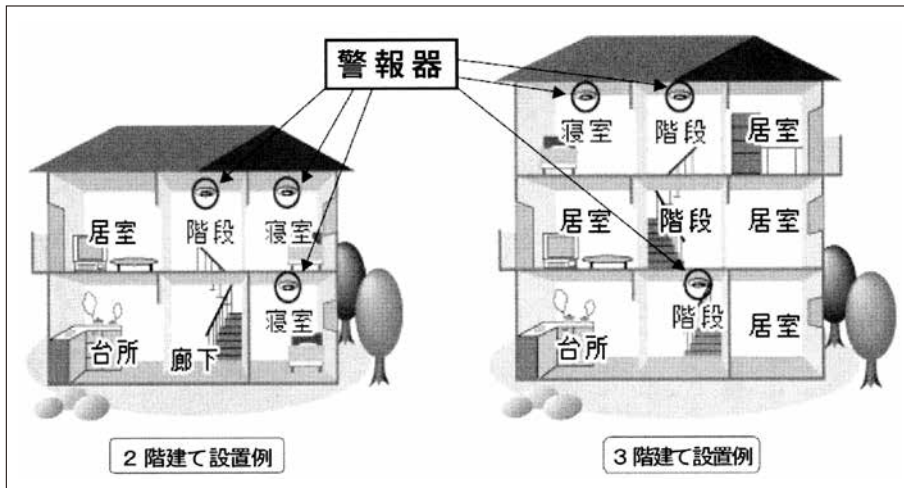
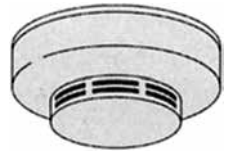


### 大通り春まつり（5月3日）

駅前から宮大門交差点までの大通りをお祭り会場として、駅前商店街と穀町商店街の皆さんがいろいろな出し物を準備しました。恒例のミニSLやフリーマーケットのほかに子どもたちによるヒップホップダンス、フラダンスのステージでも人でいっぱいのにぎやかな大通りの一日となりました。

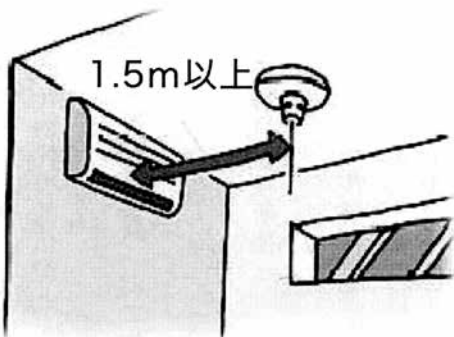
# 火災から大切な生命を守るため 住宅用火災警報器を取り付けましょう

## 住宅用火災警報器の設置が 義務づけられています

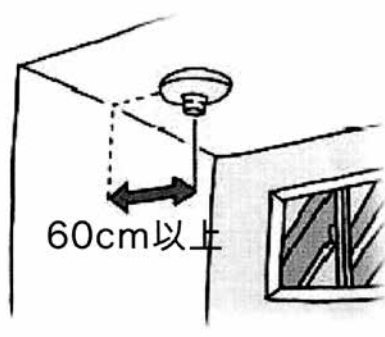


### 設置場所

- 寝室
- 寝室がある階の階段  
(3階建て以上の住宅  
はお問い合わせくだ  
さい)
- ※台所への設置もお勧  
めします



換気扇やエアコンがあるときは、1.5m  
以上離して取り付けてください。



天井に取り付けるときは、壁や  
はりから60cm以上離します。

取り  
付け  
る  
場  
所

警報器は、防災用品店、ホームセンター、家電販売店、ガス器具販売・工事店などで取り扱っています。機器の種類は光電式（寝室・階段用）とイオン化式（廊下用）の2種類があり、個人で取り付けることもできます。詳しくは、販売店、工務店などにお問い合わせください。

機器の購入、設置場所のお問い合わせは  
加茂地域消防署へ

電話 52-1770

(※110番・119番は緊急通報専用電話です。  
火災発生場所は、電話52-1233テレガイド  
でお知らせしています。)

ご注意ください!!

消防署・消防団が「住宅用火災警報器」  
「消火器」などを訪問販売することはあり  
ません。「消防署から来た」という言葉に  
はご注意ください。

# 歌い継がれて八十六年

## 須田小学校の校歌

須田小学校の校歌は、昭和三年（一九二八）十一月十日に、昭和天皇即位の奉祝記念として、校旗樹立と同時に制定された。現在歌われている加茂市内の小学校の校歌の中では一番古い。

作詞は糸魚川在住の歌人相馬御風（そうまぎよふう 一八八三～一九五〇）で、本名を昌治という。

早稲田大学校歌「都の西北」の作詞で有名になり、県内をはじめ全国各地の校歌約二百編のほか、童謡「春よ来い」や歌謡曲「カチューシャ」、新民謡「草津小唄」など多彩な作品を残す。近郷でも三条高等女学校（現三条東高校）、

# 加茂の風土記

村松中学校（現村松高校）、三条市の一ノ木戸小学校や燕市の吉田小学校などの校歌も作詞した。

郷の岡山市で楽器会社の顧問をしていた与田甚二郎で、三条小学校の校歌にも曲をつけている。新潟市の万代小学校（現万代長嶺小学校）旧校歌は、須田小学校と同じく御風と与田コンビの作品であった。

相馬御風が作詞した校歌は、もともと四節構成であったが、現在は旧三節全体が削除され、三節構成となっている。旧三節の冒頭の「我が伊夜日子の神の山」の部分について、神道色が強く、戦後の新しい民主教育を進めるにふさわしくない、として三節を削除して歌われるようになったという。戦後各学校で新しい校歌が制定される中で、なんとかして御風作詞の校歌を残そうという須田の人々の思いが伝わる。

須田小学校と同様な対応をして戦後も歌い続けられた校歌の例は、中越地域の小学校で三条市の一ノ木戸小学校や裏館小学校など十四校を数えるという（折原明彦著『校歌の風景』）。（長谷川昭一）

## 須田小学校校歌

### 第一節

明治六年に さきがけて  
教えの基 据えにける  
古き歴史を 偲ぶとき  
我に自学の 精神あり

### 第二節

百里を浸す 信濃川  
息まぬ流れを 掬ぶとき  
胸になさけの よみがえり  
我に撓まぬ 精神あり

### 第三節

我が伊夜日子の 神の山  
学窓のあけくれ 仰ぐとき  
祈らずとも 護るてふ  
我れに誠の 心あり

### 第四節

校章の雪に 螢火に  
学業をしつとめ いそしみつ  
正しき公民と 生いたちて  
校旗の光は いや添えむ

（須田小学校所蔵「沿革史」より）

網がかかった部分は、戦後に削除された。

あーいせとっ

### 社会福祉費寄付金

▼加茂市場協進会（代表 関川忠雄さん）から 三万円

コムソリスク市へ

▼坪谷イタルさん（桜沢）から

手まり六個（この手まりは、コムソリスク市派遣中学生代表団からコムソリスク市の各施設へ贈られます）

## 人口のうごき

5月1日現在  
世帯 10,291 (+14)  
人口 29,454 (-13)  
男 14,229 (- 8)  
女 15,225 (- 5)  
( )内は前月比  
(4月異動分)  
出生 17 (男12女 5)  
死亡 31 (男15女16)  
転出 59 転入 60